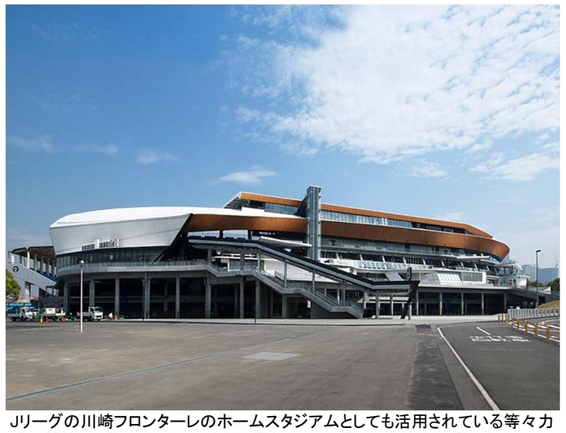
等々力陸上競技場 メインスタンド 1/3

TOTO

外観



Jリーグの川崎フロンターレのホームスタジアムとしても活用されている等々力陸上競技場。新メインスタンドの総席数は7,495席で、全体の収容人数は27,495席。災害時には、警察などの活動拠点ともなる。

観客席

一般席のほか、2人1組で観戦できる「ペアシート」や団体などで利用できる「グループシート」など、観戦環境の充実を目的とした、等々力陸上競技場ならではの6種類の「バラエティシート」が充実している。

観客席 トイレ通路

一列並びがスムーズにできるよう、男女トイレともに十分な広さの通路を確保。通路には一方通行を示すパネルを、出口には進入禁止のマークを表示している。

観客席 女性トイレ 全体

大便器ブースの空き状況がひと目でわかるように、ブース内の壁と扉の色を変えている。使用中は白色（扉の色）が、空いている場合は赤色（ブース内の壁の色、男性は青）が見えるようになっている。

観客席フロア

メインスタンドには、藤子・F・不二雄ミュージアムとのコラボレーションによるブロンズ像が各所に飾られている。

観客席フロア

迷わずにトイレまで行くことができるよう、トイレまでの壁を緑色に着色。

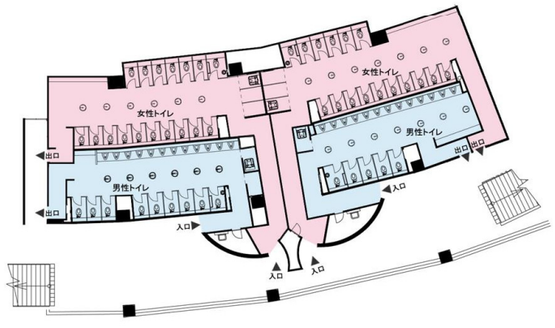
観客席 女性トイレ 洗面・パウダーコーナー

洗面コーナーの混雑を緩和するため、洗面コーナーとパウダーコーナーを分離して設置。アイランド型の洗面コーナーは、手洗いに特化し、滞留時間を短縮するため、化粧鏡は設置していない。

観客席 女性トイレ 大便器ブース

大便器はお客様の要望を反映し、すべて洋式便器を採用。
2度流しを防止する音姫（擬音装置）を設置している。

観客席 トイレ図面



混雑緩和を図るため、入口と出口を分ける1WAY（一方通行）の動線を採用。女性トイレを奥に配置することで、男性よりも空きを待つスペースを長くしている。

観客席 トイレ入口

各トイレの利用者の偏りや迷いを少なくするために、トイレの移動はコンコースを横断しない動線計画で、階段ごとにトイレを1ヶ所設置。階段を下りるとトイレの入口が見える。

観客席 女性トイレ 着替え・おむつ替えコーナー

お客様の要望を反映し男女トイレには、おむつ替えコーナーと、応援するチームのユニホームに着替えることができるように、着替えコーナーを設置している。

観客席 男性トイレ 全体

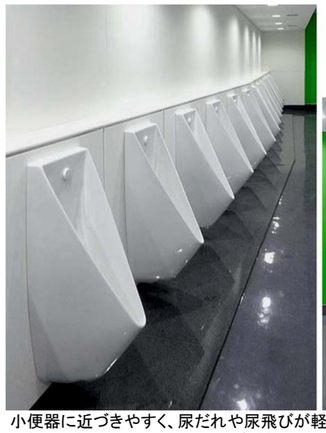
彩度の高い白を基調とした空間に、大便器ブースのブルーの色が映えるトイレ空間。入口から全体を見渡すことができる。

2015.09 作成 無断複製・転載禁止 （C） TOTO. LTD. 2015 All Rights Reserved 26033

等々力陸上競技場 メインスタンド　2/3

TOTO

観客席　男性トイレ　小便器・身づくろいコーナー

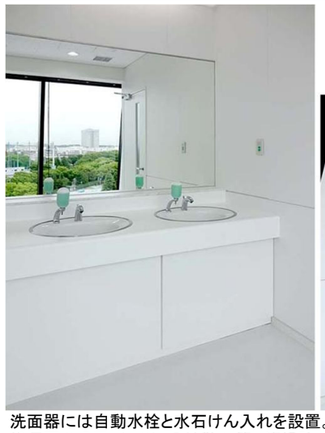


小便器に近づきやすく、尿だれや尿飛びが軽減できるRESTROOM ITEM01小便器を採用。フェイスペイントができるように、男性トイレにも身づくろいコーナーを設置している。

観客席　多機能トイレ

コンパクト多機能トイレパックを採用した多機能トイレ。車いす使用者やオストメイトの方など、さまざまな使用者を想定して、オストメイト対応トイレパックや収納式多目的シートを備えている。

スカイボックスルーム　女性トイレ



洗面器には自動水栓と水石けん入れを設置。すべての大便器ブースに換気扇を設置。においの拡散対策と盗撮防止のため、ブース扉のすき間を小さくしている。競技開始時刻が分かるように時計も設置。

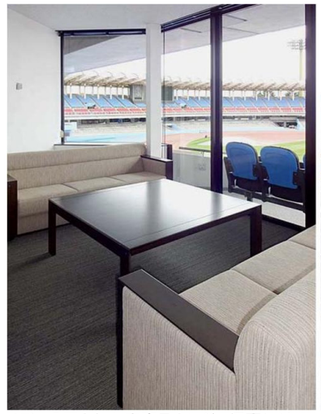
スカイボックスルーム　男性トイレ

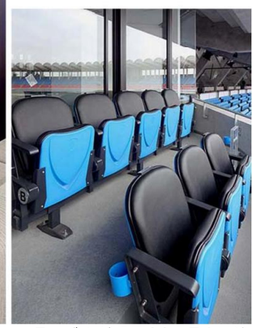
環境に配慮し、大便器は5.5L洗浄のパブリックコンパクト便器を採用。便座は2度流しを防止する音姫（擬音装置）機能を搭載したウォシュレットPを設置。小便器は床の清掃性に優れた壁掛式を採用。

観客席　親子トイレ

ファミリーシートの近くには、小さなお子様連れに配慮して、幼児用大便器やベビーシートを備えた親子トイレを設置している。

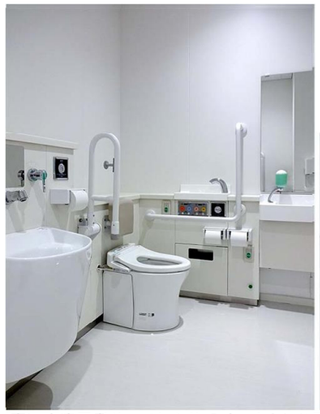
来賓ラウンジ





3Fに設置された来賓ラウンジ。個室にはソファ・テーブルが設置され、ラウンジの外には観戦シートが用意されている。

スカイボックスルーム　多機能トイレ

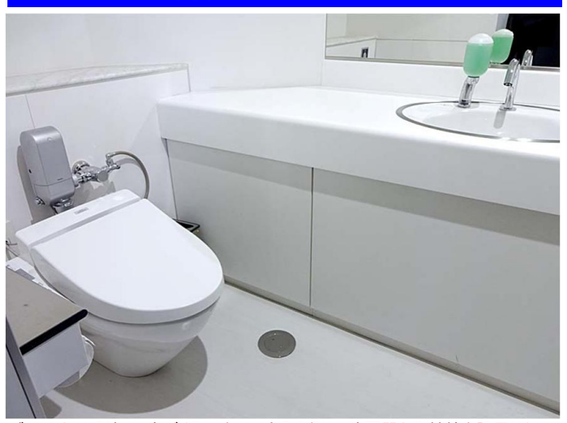


車いす使用者やオストメイトの方、小さなお子様連れに配慮して、オストメイト対応トイレパックやベビーシートを設置している。

選手用　ロッカールーム

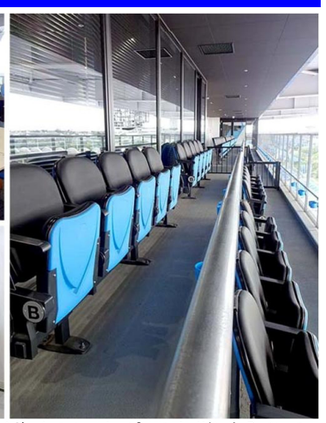
ロッカールームには、シャワールームとトイレを併設。ロッカーの色は、ホーム側は川崎フロンターレのチームカラーである青、アウェイ側は黒で統一されている。

来賓ラウンジ　トイレ



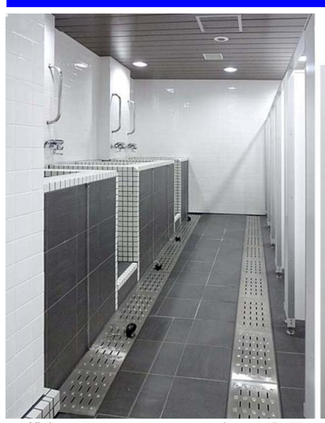
ブース内で手洗い・身づくろいまでできるように、洗面器と化粧鏡を設置した個室完結型のトイレ。大便器には、2度流しを防止する、音姫（擬音装置）機能を搭載したウォシュレットPを設置。

VIPフロア　スカイボックスルーム



6FのVIPフロアに設置されたスカイボックスルーム。ピッチサイドにあるベンチと同じ椅子が用意され、選手の気分を味わうことができる。

選手用　シャワールーム



浴槽を4ヶ所、シャワールームを8ヶ所設置している。

選手用　浴槽

激しい運動の後のリカバリー（疲労回復）対応として、アイスバス（氷風呂）対応可能な個別浴槽を4ヶ所設置（深さ1050mm）。

2015.09 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2015 All Rights Reserved　26033

等々力陸上競技場 メインスタンド 3/3

TOTO

選手用トイレ 洗面・大便器コーナー

洗面器の水栓金具は、非接触で衛生的な自動水栓を設置。
大便器には、選手からの要望でウォシュレットを設置。2度流しを防止する音姫（擬音装置）機能が搭載されている。

選手用トイレ 小便器コーナー

小便器は、床の清掃性に優れた低リップタイプの壁掛式小便器を採用。

医務室

選手フロアには、万一に備え医務室が設置されている。

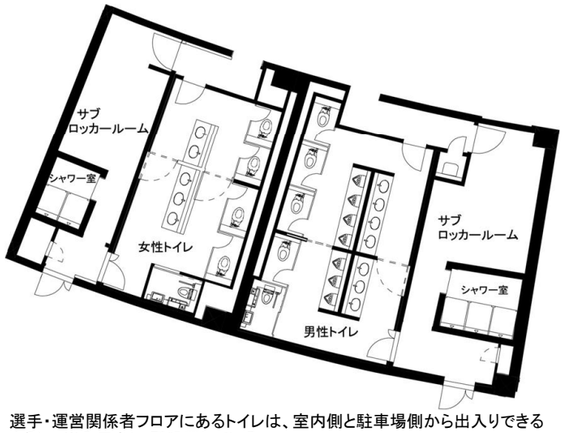
医務室 トイレ

洗面器の水栓金具は、ノンタッチで水の出し止めができる自動水栓を設置。大便器はパブリックコンパクト便器を採用。

選手用 多機能トイレ

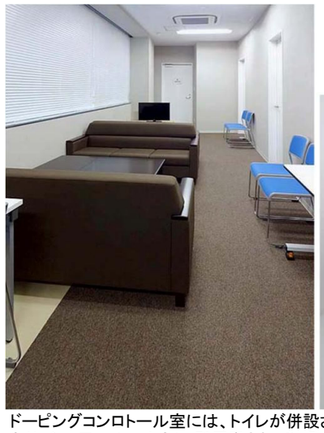
選手エリアの男女トイレには、車いす使用者に配慮して、コンパクト多機能トイレパックを採用した多機能トイレを設置。（1250mm×2000mm）

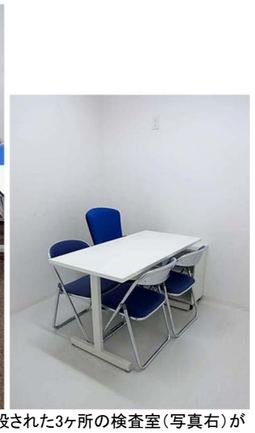
選手フロア トイレ図面



選手・運営関係者フロアにあるトイレは、室内側と駐車場側から出入りできるように、出入口を2ヶ所設置している。

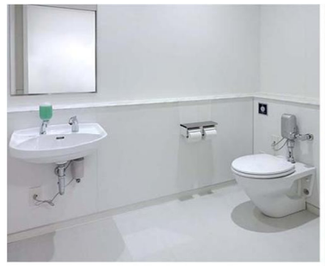
ドーピングコントロール室

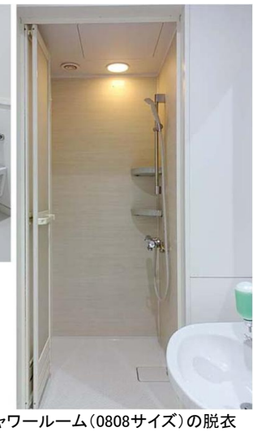




ドーピングコントロール室には、トイレが併設された3ヶ所の検査室（写真右）があり、シャワールームも2ヶ所用意されている。

ドーピングコントロール室 トイレ・シャワー室





トイレは、洗面器を備えた個室完結型。シャワールーム（0808サイズ）の脱衣室には洗面器が設置されている。

選手フロア トイレ

扉を開放している場合　　扉を閉じた場合

トイレの入口を2ヶ所設け、外部からも出入りできるようにしている。さらに、男女ともトイレ内に扉を設置し、トイレを2分割できるようにしている。

選手フロア サブロッカールーム

サブロッカールームには、シャワールームが用意されている。

建築概要

名　　称	等々力陸上競技場 メインスタンド
所 在 地	神奈川県川崎市中原区等々力1
施　　主	川崎市
設計・監理	日本設計・大成建設一級建築士事務所 設計共同企業体
施　　工	大成・飛島・小川・沼田・日本設計 共同企業体
竣工年月	2015年3月

水まわりの特長

＜改築の経緯＞
等々力陸上競技場は、等々力緑地（総合公園）内にある公園施設で、1967年に完成。当初より、多目的競技場として、陸上競技とともに球技場としても使用されていたが、現在は、Jリーグの川崎フロンターレのホームスタジアムとして有名。築約50年が経過し、施設の老朽化が進んだため、メインスタンドの改築工事を実施。太陽光発電・雨水利用・地中熱利用冷暖房など、環境配慮のための先端技術を採用した競技場が完成した。

＜トイレの特長＞
混雑緩和を図るため、トイレの入口と出口を分ける1WAY（一方通行）の動線を採用し、トイレ内に順番待ちの場所を設置。大便器ブースは空き状況がひと目でわかるような工夫が施されている。さらに、洗面所の混雑を緩和するため、洗面コーナーとパウダーコーナーを分離して設置。そのほか、男女トイレにパウダー・身繕いコーナーの設置するなど、観戦を楽しむお客様の声を反映した新たな試みが多数取り入れられている。

＜改築後の様子＞
以前は、サッカー開催時、トイレの混雑が大きな問題だったが、改築後はハーフタイム（15分間）が終了する頃には行列がない状態になっている。

2015.09 作成　無断複製・転載禁止　（C） TOTO. LTD. 2015 All Rights Reserved　26033